

「特集：米国同時多発テロ」のホームページ掲載のお知らせ

昨年からホームページに「フラッシュ」というコーナーを開設しました。本コーナーは、調査研究の過程でみつけた興味深い情報や話題を提供したり、時に研究員の視点で料理、加工してお届けする常設欄です。開設以来、多方面からご好評を得ています。トップページ (<http://www.iti.or.jp/>) より全ての記事にアクセスできます。

1. 特集記事掲載にあたって

本年9月、米国において同時多発テロが発生しました。この事件が内包する影響の大きさを重くみ、ホームページに「特集：米国同時多発テロ事件」を掲載することにしました。構成は、次の3部から成っています。

(1) 「フラッシュ」

同時多発テロおよびこれに関連するテーマについて執筆者独自の視点から集中的に執筆。(掲載内容は表をご参照ください。)

(2) 「海外メディアの報道(要旨)」

諸外国主要メディアの同時多発テロ関連記事を精選、要約の上、これらを時系列的に提示。日々変化する経済への影響等につき主要メディアはどう見ているか、オンタイムでフォローしています。

これまでの記事掲載総数は100本程度です。詳細についてはホームページ

(<http://www.iti.or.jp/terotop.htm/>) をご参照ください。各メディアへのリンクがあります。

(3) 「海外メディアの報道に見る経済・貿易・投資等への影響一覧」

上記(2)の要旨を経済全般、消費、金融、市況の各項目ごとに、主要地域(米国、欧州、アジア

他の3地域に分類)別に、マトリックス風に分類して掲載しています。

上記の「海外メディアの報道(要旨)」「海外メディアの報道に見る経済・貿易・投資等への影響一覧」は事件発生以来、毎日更新を重ねてきました。その甲斐もあって情報も蓄積されましたので、事件発生後3週間経過した時点で、海外メディアの報道の整理を試み、これをフラッシュ記事としてまとめたものが10月5日付のフラッシュ18「海外主要メディアにみる同時多発テロの衝撃 米国と世界の経済、金融、石油市場への影響」です。整理の視点は、景気・消費、金融・市況、石油市場への影響という具合に、いずれもビジネス界にとって関心の深い分野です。本稿は米国同時多発テロ特集作成タスクフォース(木内、小野、中村、和田)が担当しました。

2. アクセス数が急増

米国同時多発テロ事件への世の中の関心の高さとあわせて、当研究所が特集を始めた後、ホームページへのアクセス数が急増しています。ページビューでみると、8月の平均値に比べ、9月、10月には2~3倍へと増加しています。9月20日には、それ以前の約6倍増という記録を達成しました。ちょうどフラッシュを毎日更新し、「真の日米同盟への試金石(1)、(2)」というシリーズ物を掲載したときです。

この間の、その他のアクセス数増加の要因としては、日本国内における「狂牛病」に対する関心の高まりにより、通常のフラッシュ欄における、「牛肉・航空機で争うブラジルとカナダ」へのアクセス数の増加が挙げられます。

これらのフラッシュ記事をご覧いただくとともに、最近では、研究実績やスタッフ紹介のページなどへのアクセスも増え、以前にも増して研究所への関心もお持ちいただけたのではないかと自負しております。

3. お知らせ

今回の特集記事をスタートさせるにあたり、トップページのデザインを一新しました。ホームページの新構成は次のとおりです。

特集：米国同時多発テロ事件

フラッシュ

ITI の紹介

ITI 季報

進行中のプロジェクト

研究実績

研究所だより

リンク集

現在、貿易、投資を中心とした統計のページ(仮称：国際比較統計)を作成中です。近日中にホームページに掲載する予定ですので、是非ご活用ください。

当研究所のホームページをご覧いただいている皆様方に、心から御礼申し上げます。一層皆様方のお役に立てるよう、さらなるコンテンツの充実に励む所存です。本稿執筆時点においても、「特集：米国同時多発テロ事件」は更新中です。今後とも、よろしくご支援のほどお願い申し上げます。ご意見、ご感想等ありましたら、webmaster@iti.or.jp までお願いします。

(和田 善寛)

「特集：米国同時多発テロ事件」 フラッシュ記事一覧

日付	タイトル	執筆者
9/14 (No.9)	同時多発テロは米国覇権体制への反逆か	木内恵
9/17 (No.10)	湾岸戦争の時とは何が違うか	木内恵
9/18 (No.11)	すべての戦争はジハードである	木内恵
9/19 (No.12)	テロが日米関係に問いかけるもの～日米同盟への試金石(その1)～	木内恵
9/20 (No.13)	自衛隊派遣なかりせば、情念の日米同盟～真の日米同盟への試金石(その2)～	木内恵
9/21 (No.14)	文明の衝突を回避せよ	木内恵
9/25 (No.15)	同時多発テロと米国経済	滝井光夫
9/28 (No.16)	テロ対策にみる米通商政策の位置付け	木内恵
10/5 (No.18)	海外主要メディアにみる同時多発テロの衝撃 米国と世界の経済、金融、石油市場への影響	米国同時多発テロ特集作成タスクフォース
10/16 (No.19)	テロは米経済の流れを変える分水嶺か(その1) レーガノミックス、負の連鎖出現の恐れも	木内恵
10/17 (No.20)	テロは米経済の流れを変える分水嶺か(その2) 経済の好循環に暗雲	木内恵